



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 日本ゼオン株式会社

コード番号 4205 URL <https://www.zeon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊嶋哲也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 曾根芳之 TEL 03-3216-2747

四半期報告書提出予定日 2023年8月4日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	91,927	△5.8	6,114	△43.0	8,306	△35.8	5,836	△33.0
2023年3月期第1四半期	97,576	11.9	10,726	△22.6	12,940	△12.7	8,706	△13.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 13,747百万円 (2.2%) 2023年3月期第1四半期 13,452百万円 (△14.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	27.62	27.61
2023年3月期第1四半期	40.98	40.96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	514,804	348,216	67.1
2023年3月期	522,868	339,308	64.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 345,177百万円 2023年3月期 336,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2024年3月期	—				
2024年3月期(予想)		20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	185,000	△6.3	11,000	△45.5	14,500	△40.6	10,500	△39.7	49.70
通期	394,000	1.4	27,500	1.2	31,500	0.3	23,500	122.3	111.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

連結業績予想の修正については、本日(2023年7月27日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	229,513,656株	2023年3月期	229,513,656株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	18,235,367株	2023年3月期	18,235,195株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	211,278,418株	2023年3月期1Q	212,416,662株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は2023年7月27日(木)に証券アナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、開催に先立ち当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間を振り返りますと、国内経済・海外経済ともに緩やかな持ち直しの動きがみられる一方、世界的な金融引き締め政策の継続による景気下振れリスクや金融資本市場の変動、物価上昇等の懸念はなお拭えず、依然として緊張状態にある米中関係の影響やロシアのウクライナ侵攻による影響等も加わり、当社グループを取り巻く環境としては先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループはこのような環境のもとで、「ZΣ運動」による徹底したコスト削減や、生産革新活動に注力するとともに、エラストマー素材事業におきましては採算性の重視と生産・販売のグローバル展開、高機能材料事業におきましては付加価値の高い新製品の開発と事業拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は919億27百万円となり、前年同期間に比べて56億50百万円の減収となりました。また、営業利益は61億14百万円と前年同期間に比べて46億13百万円の減益、経常利益は83億6百万円と前年同期間に比べて46億35百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は58億36百万円と前年同期間に比べて28億70百万円の減益となりました。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

(エラストマー素材事業部門)

合成ゴム関連では、中国景気減速に伴い出荷は伸び悩んだものの、為替影響や棚卸資産関連費用の戻し入れ等により全体の売上高、営業利益は前年同期間を上回りました。

合成ラテックス関連では、医療・衛生用手袋の流通在庫が引き続き過剰で需給緩和となり、売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

化成品関連では、景気悪化に伴う粘着テープ・ラベル向けの需要回復遅れによる出荷減およびこれに伴う販売価格対応等により、売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

以上の結果、エラストマー素材事業部門全体の売上高は、前年同期間に比べて13億28百万円減少し522億18百万円、営業利益は前年同期間に比べて15億94百万円減少し24億64百万円となりました。

(高機能材料事業部門)

高機能樹脂関連では、大型テレビ向け光学フィルムは回復基調にあるものの、スマホ、モバイル端末向け光学フィルムについてテレワーク特需の一巡および経済不況による需要減からの回復の動きが依然弱く、高機能樹脂関連全体の売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

電池材料関連では、出荷は回復基調にあるものの、中国における需要の落ち込みによる現地在庫調整の影響を受け、売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

化学品関連では、合成香料・特殊溶剤とともに主力生産工場の定期修理に伴う出荷量調整を行ったこと等により、売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

電子材料関連では、半導体メーカーの稼働率低下の影響を受け、売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

トナー関連では、テレワーク特需が一巡し、売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

以上の結果、高機能材料事業部門全体の売上高は、前年同期間に比べて48億80百万円減少し251億96百万円、営業利益は前年同期間に比べて29億83百万円減少し39億98百万円となりました。

(その他の事業部門)

その他の事業においては、子会社の商事部門等の売上高が前年同期間を上回りました。

以上の結果、その他の事業部門全体の売上高は、前年同期間に比べて2億75百万円増加し153億74百万円、営業利益は前年同期間に比べて2億15百万円増加し6億37百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて80億64百万円減少し5,148億4百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、未収入金の減少等によるものであります。

(負債)

当四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて169億71百万円減少し1,665億89百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少等によるものであります。

(純資産)

当四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて89億7百万円増加し3,482億16百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、最近の業績動向を踏まえ、2024年3月期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日(2023年7月27日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,082	22,957
受取手形及び売掛金	79,622	81,996
電子記録債権	3,972	3,997
商品及び製品	97,345	90,771
仕掛品	7,657	7,198
原材料及び貯蔵品	22,450	22,695
未収入金	43,816	32,341
その他	11,801	10,203
貸倒引当金	△113	△117
流動資産合計	296,631	272,041
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	41,912	42,913
機械装置及び運搬具（純額）	31,467	32,889
土地	15,393	15,798
建設仮勘定	20,425	27,545
その他（純額）	4,726	4,790
有形固定資産合計	113,924	123,935
無形固定資産		
その他	4,442	5,071
無形固定資産合計	4,442	5,071
投資その他の資産		
投資有価証券	100,113	105,026
繰延税金資産	728	1,008
その他	7,249	7,943
貸倒引当金	△219	△219
投資その他の資産合計	107,871	113,758
固定資産合計	226,237	242,764
資産合計	522,868	514,804

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	83,659	57,938
電子記録債務	3,122	2,858
短期借入金	8,960	8,960
コマーシャル・ペーパー	19,000	30,000
未払法人税等	2,898	2,324
賞与引当金	2,625	432
修繕引当金	5,634	6,041
その他の引当金	47	46
その他	34,641	31,312
流動負債合計	160,587	139,911
固定負債		
繰延税金負債	2,272	5,401
退職給付に係る負債	13,759	13,768
修繕引当金	930	1,564
その他の引当金	46	43
その他	5,965	5,902
固定負債合計	22,973	26,678
負債合計	183,560	166,589
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,211	24,211
資本剰余金	19,137	19,137
利益剰余金	268,363	268,920
自己株式	△19,024	△19,024
株主資本合計	292,688	293,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,538	38,354
繰延ヘッジ損益	△1	11
為替換算調整勘定	11,823	13,282
退職給付に係る調整累計額	262	285
その他の包括利益累計額合計	43,623	51,933
新株予約権	88	88
非支配株主持分	2,910	2,951
純資産合計	339,308	348,216
負債純資産合計	522,868	514,804

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	97,576	91,927
売上原価	66,345	66,563
売上総利益	31,231	25,363
販売費及び一般管理費	20,505	19,250
営業利益	10,726	6,114
営業外収益		
受取利息	41	62
受取配当金	1,174	1,076
為替差益	1,062	1,316
持分法による投資利益	38	18
雑収入	114	100
営業外収益合計	2,428	2,571
営業外費用		
支払利息	30	16
休止固定資産減価償却費	70	135
投資事業組合運用損	39	139
雑損失	76	90
営業外費用合計	214	380
経常利益	12,940	8,306
特別利益		
固定資産売却益	0	4
投資有価証券売却益	—	9
特別利益合計	0	13
特別損失		
固定資産処分損	31	37
減損損失	—	323
その他	768	7
特別損失合計	799	367
税金等調整前四半期純利益	12,141	7,951
法人税等	3,301	2,096
四半期純利益	8,840	5,855
非支配株主に帰属する四半期純利益	135	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,706	5,836

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	8,840	5,855
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	785	6,816
繰延ヘッジ損益	3	13
為替換算調整勘定	3,655	982
退職給付に係る調整額	9	22
持分法適用会社に対する持分相当額	159	59
その他の包括利益合計	4,611	7,892
四半期包括利益	13,452	13,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,131	13,706
非支配株主に係る四半期包括利益	321	41

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(原価差異の繰延処理)

季節的に変動する操業度等により発生した原価差異は、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)および流動負債(その他)として繰り延べております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	53,547	30,076	83,622	15,099	98,721	△1,145	97,576
外部顧客への売上 高	52,710	29,963	82,673	14,903	97,576	—	97,576
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	837	113	949	196	1,145	△1,145	—
計	53,547	30,076	83,622	15,099	98,721	△1,145	97,576
セグメント利益	4,058	6,981	11,039	422	11,461	△735	10,726

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、R I M配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△735百万円は、セグメント間取引消去19百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△753百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の源泉から生じる収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

5. 一定の期間にわたり移転される財又はサービスから生じる収益は重要性がないことから記載しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	51,543	25,187	76,730	15,197	91,927	—	91,927
外部顧客への売上 高	51,543	25,187	76,730	15,197	91,927	—	91,927
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	676	9	685	177	862	△862	—
計	52,218	25,196	77,415	15,374	92,789	△862	91,927
セグメント利益	2,464	3,998	6,462	637	7,099	△985	6,114

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、R I M配合液、塗料等の販売等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△985百万円は、セグメント間取引消去10百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△995百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. その他の源泉から生じる収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。
5. 一定の期間にわたり移転される財又はサービスから生じる収益は重要性がないことから記載しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エラストマー素材事業」、「高機能材料事業」、各報告セグメントに配分していない「全社資産」において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては「エラストマー素材事業」251百万円、「高機能材料事業」12百万円、「全社資産」60百万円であります。